

# 市内経営動向調査

平成27年10月～12月期（第3四半期）

- ① 調査の時期 平成28年1月      ② 調査の期間 平成27年10月～12月  
③ 調査対象企業 280社      ④ 回収状況 149社（回答率53.2%）  
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、  
業界の景況感、前年同期比売上動向（H26.10月～12月）、前年同期比採算動向  
（H26.10月～12月）を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

## 【総括】

### ○全業種

全業種では、佐世保の景況感と前年同期比売上げ動向におけるDI値の改善がみられた。今回も前回に引き続き緩やかに回復基調が窺えた。しかし、業種毎にはDI値に一進一退の動きも見られ、先行きも懸念材料を払拭できておらず、今後も慎重な見方が続く。一部では新たにふるさと納税やクルーズ船の効果を好転要因とする声もあったが、経営上の問題として、依然として人材不足や人材育成、原材料費・労務費等の高騰、公共工事の見通しを問題視する声に加え、今後の消費増税の影響を懸念する声も寄せられた。

### ○佐世保市内の景況感

DI値は、建設業を除く、製造業、卸・小売業、サービス業において改善した。各業種一進一退の動きが見られる中、全体的には3期連続で緩やかに回復基調が窺え、消費増税前の水準に近づきつつある。4期連続改善から前回悪化に転じた製造業では、▲22.2（前回比+9.9ポイント）と業界の景況感に比例して今回は改善に転じた。

### ○市内業界の景況感

DI値は、製造業、サービス業において改善したものの、建設業、卸・小売業において悪化した。卸・小売業では、『悪い』『大変悪い』と回答した企業が10.2%増加し、▲43.5（前回比-12.7ポイント）と大きく悪化に転じた。全業種の中でも低い数値が続いており、今後の動向が注視される。一方、4期連続改善から前回大きく悪化に転じた製造業では、『悪い』『大変悪い』と回答した企業が13.4%減少し、▲11.1（前回比+21.1ポイント）と大きく改善し、平成23年以来、全業種の中でも最も高い数値となった。全体的には5期連続で緩やかに横ばい傾向が続く中、先行きに不安材料もあり慎重な見方が続く。

### ○前年同期比の売上動向









































DI値は、卸・小売業、サービス業において改善したものの、建設業、製造業において悪化した。前回消費増税前の水準まで大きく改善に転じた建設業は、▲6.7（前回比-9.1ポイント）と悪化に転じた。全体的にはこれまで業種毎に大きな差が見られた数値は均衡。改善の要因として、今回新たにふるさと納税やクルーズ船の効果といった声に加え、引き続き円安による輸出競争力の向上や市内テーマパークの好調といった声が寄せられた。

### ○前年同期比の採算動向

DI値は、製造業を除く、建設業、卸・小売業、サービス業において悪化した。前回全業種では、平成12年の調査開始以来、最も高い数値となったが、今回は▲9.4（前回比-9.4ポイント）と悪化に転じた。要因として、労務費の上昇や原材料費の高騰、価格競争を問題視する声が寄せられた。全国的にも最低賃金の引き上げや人手不足を背景とする労務費の上昇や価格転嫁の遅れ、受注・売上の減少を指摘する声が聞かれるため、今後の動向が注視される。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
<b>全業種 DI値 ▲ 27.7</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 28.3</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 0.6</b>				<b>全業種 ▲ 9.4</b>			
1.大変良い	1	0.68%	0.7	1.大変良い	1	0.68%	0.7	1.増加	4	2.68%	2.7	1.好転	1	0.68%	0.7
2.良い	7	4.73%	4.7	2.良い	10	6.76%	6.8	2.やや増加	39	26.17%	26.2	2.やや好転	30	20.27%	20.3
3.普通	91	61.49%	61.5	3.普通	84	56.76%	56.7	3.変わらない	62	41.61%	41.6	3.変わらない	72	48.65%	48.6
4.悪い	46	31.08%	31.1	4.悪い	48	32.43%	32.4	4.やや減少	30	20.13%	20.1	4.やや悪化	36	24.32%	24.3
5.大変悪い	3	2.03%	2.0	5.大変悪い	5	3.38%	3.4	5.減少	14	9.40%	9.4	5.悪化	9	6.08%	6.1
<b>建設業 DI値 ▲ 35.6</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 33.3</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 6.7</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 28.9</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	2	4.44%	4.4	2.良い	3	6.67%	6.7	2.やや増加	11	24.44%	24.4	2.やや好転	5	11.11%	11.1
3.普通	25	55.56%	55.6	3.普通	24	53.33%	53.3	3.変わらない	20	44.44%	44.5	3.変わらない	22	48.89%	48.9
4.悪い	16	35.56%	35.6	4.悪い	16	35.56%	35.6	4.やや減少	6	13.33%	13.3	4.やや悪化	13	28.89%	28.9
5.大変悪い	2	4.44%	4.4	5.大変悪い	2	4.44%	4.4	5.減少	8	17.78%	17.8	5.悪化	5	11.11%	11.1
<b>製造業 DI値 ▲ 22.2</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 11.1</b>				<b>製造業 DI値 3.5</b>				<b>製造業 DI値 7.4</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	2	7.14%	7.1	1.好転	1	3.70%	3.7
2.良い	1	3.70%	3.7	2.良い	4	14.81%	14.8	2.やや増加	5	17.86%	17.9	2.やや好転	8	29.63%	29.6
3.普通	19	70.37%	70.4	3.普通	16	59.26%	59.3	3.変わらない	15	53.57%	53.5	3.変わらない	11	40.74%	40.8
4.悪い	7	25.93%	25.9	4.悪い	6	22.22%	22.2	4.やや減少	5	17.86%	17.9	4.やや悪化	6	22.22%	22.2
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	1	3.70%	3.7	5.減少	1	3.57%	3.6	5.悪化	1	3.70%	3.7
<b>卸・小売業 DI値 ▲ 30.7</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 43.5</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 2.5</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 10.3</b>			
1.大変良い	1	2.56%	2.6	1.大変良い	1	2.56%	2.6	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.56%	2.6	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	11	28.21%	28.2	2.やや好転	6	15.38%	15.4
3.普通	23	58.97%	58.9	3.普通	20	51.28%	51.3	3.変わらない	16	41.03%	41.1	3.変わらない	23	58.97%	58.9
4.悪い	13	33.33%	33.3	4.悪い	16	41.03%	41.0	4.やや減少	10	25.64%	25.6	4.やや悪化	9	23.08%	23.1
5.大変悪い	1	2.56%	2.6	5.大変悪い	2	5.13%	5.1	5.減少	2	5.13%	5.1	5.悪化	1	2.56%	2.6
<b>サービス業 DI値 ▲ 18.9</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 18.9</b>				<b>サービス業 DI値 5.4</b>				<b>サービス業 DI値 2.7</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	2	5.41%	5.4	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	3	8.11%	8.1	2.良い	3	8.11%	8.1	2.やや増加	12	32.43%	32.4	2.やや好転	11	29.73%	29.7
3.普通	24	64.86%	64.9	3.普通	24	64.86%	64.9	3.変わらない	11	29.73%	29.8	3.変わらない	16	43.24%	43.3
4.悪い	10	27.03%	27.0	4.悪い	10	27.03%	27.0	4.やや減少	9	24.32%	24.3	4.やや悪化	8	21.62%	21.6
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	3	8.11%	8.1	5.悪化	2	5.41%	5.4

市内経営動向調査 平成27年度第3四半期（平成27年10月～12月）DI景況感 ※DI値は平成27年第2四半期（平成27年7月～9月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲29.4 ⇒ ▲27.7 ↗  ⇒  ↑	DI ▲24.8 ⇒ ▲28.3 ↗  ⇒  ↓	DI ▲2.1 ⇒ ▲0.6 ↗  ⇒  ↑	DI 0.0 ⇒ ▲9.4 ↗  ⇒  ↓
建設業	DI ▲26.2 ⇒ ▲35.6 ↗  ⇒  ↓	DI ▲16.7 ⇒ ▲33.3 ↗  ⇒  ↓	DI 2.4 ⇒ ▲6.7 ↗  ⇒  ↓	DI ▲5.0 ⇒ ▲28.9 ↗  ⇒  ↓
製造業	DI ▲32.1 ⇒ ▲22.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲32.2 ⇒ ▲11.1 ↗  ⇒  ↑	DI 3.6 ⇒ 3.5 ↗  ⇒  ↓	DI 7.1 ⇒ 7.4 ↗  ⇒  ↑
卸・小売業	DI ▲37.5 ⇒ ▲30.7 ↗  ⇒  ↑	DI ▲30.8 ⇒ ▲43.5 ↗  ⇒  ↓	DI ▲15.0 ⇒ ▲2.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲7.5 ⇒ ▲10.3 ↗  ⇒  ↓
サービス業	DI ▲21.2 ⇒ ▲18.9 ↗  ⇒  ↑	DI ▲21.9 ⇒ ▲18.9 ↗  ⇒  ↑	DI 3.0 ⇒ 5.4 ↗  ⇒  ↑	DI 9.3 ⇒ 2.7 ↗  ⇒  ↓



DI100～81



DI80～41



DI40～11



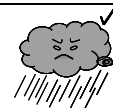
DI10～▲10



DI▲11～▲40

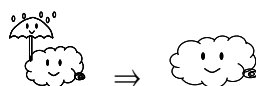


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↗ (平成21年度第1四半期～平成27年度第3四半期の傾向)



↑ (平成27年度第2四半期と平成27年度第3四半期との比較)

## 【概 況】

(全業種) ※ ( ) 内は前回調査値

### ① 市内の景況感について

「大変良い」0.7% (0.7%)、「良い」4.7% (5.6%)、「普通」61.5% (58.0%)、「悪い」31.1% (35.0%)、「大変悪い」2.0% (0.7%) となり、DIは▲27.7 (▲29.4) と1.7ポイント改善した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業、サービス業でプラスに作用し、建設業ではマイナスに作用した。

### ② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0.7% (0.7%)、「良い」6.8% (8.5%)、「普通」56.7% (56.8%)、「悪い」32.4% (31.9%)、「大変悪い」3.4% (2.1%) となり、DIは▲28.3 (▲24.8) と3.5ポイント悪化した。業種別DIでは、製造業、サービス業でプラスに作用し、建設業、卸・小売業ではマイナスに作用した。

### ③ 前年同期(平成26年10月～12月)比の売上動向について

「増加」2.7% (2.8%)、「やや増加」26.2% (19.6%)、「変わらない」41.6% (53.1%)、「やや減少」20.1% (16.8%)、「減少」9.4% (7.7%) となり、DIは▲0.6 (▲2.1) と1.5ポイント改善した。業種別DIでは、卸・小売業、サービス業でプラスに作用し、建設業、製造業ではマイナスに作用した。

### ④ 前年同期(平成26年10月～12月)比の採算動向について

「好転」0.7% (1.4%)、「やや好転」20.3% (21.4%)、「変わらない」48.6% (54.4%)、「やや悪化」24.3% (17.1%)、「悪化」6.1% (5.7%) となり、DIは▲9.4 (0) と9.4ポイント悪化した。業種別DIでは、製造業でプラスに作用し、建設業、卸・小売業、サービス業ではマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

**(建設業)** 回答：78社中45社、回答率57.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」4.4% (7.1%)、「普通」55.6% (59.6%)、「悪い」35.6% (33.3%)、「大変悪い」4.4% (0%) となり、DIは▲35.6 (▲26.2) と9.4ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」6.7% (7.1%)、「普通」53.3% (69.1%)、「悪い」35.6% (23.8%)、「大変悪い」4.4% (0%) となり、DIは▲33.3 (▲16.7) と16.6ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」24.4% (19.1%)、「変わらない」44.5% (64.2%)、「やや減少」13.3% (14.3%)、「減少」17.8% (2.4%) となり、DIは▲6.7 (▲2.4) と4.3ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」11.1% (15.0%)、「変わらない」48.9% (65.0%)、「やや悪化」28.9% (15.0%)、「悪化」11.1% (5.0%) となり、DIは▲28.9 (▲5.0) と23.9ポイント悪化した。

#### 《主な自由意見》

##### ○昨年同期の売上動向

好転要因では、受注の増加、大型公共工事の受注、進捗率の向上などの回答があった。

悪化要因では、公共工事の受注（発注）減少、同業者過多、価格競争の影響などの回答があった。

##### ○昨年同期の採算動向

好転要因では、原価管理の徹底などの回答があった。

悪化要因では、受注の減少や受注金額の低下などの回答があった。

##### ○経営上の問題

技術者（有資格者）などの人材不足や若年労働者の確保、今後の公共工事を含む受注見通しを問題視する声が寄せられた。

**(製造業) 回答：64社中28社、回答率43.8%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.7% (3.6%)、「普通」70.4% (60.7%)、「悪い」25.9% (35.7%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲22.2 (▲32.1) と9.9ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」14.8% (7.1%)、「普通」59.3% (53.6%)、「悪い」22.2% (35.7%)、「大変悪い」3.7% (3.6%) となり、DIは▲11.1 (▲32.2) と21.1ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」7.1% (7.1%)、「やや増加」17.9% (25.0%)、「変わらない」53.5% (39.4%)、「やや減少」17.9% (21.4%)、「減少」3.6% (7.1%) となり、DIは3.5 (3.6) と0.1ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」3.7% (0%)、「やや好転」29.6% (32.1%)、「変わらない」40.8% (42.9%)、「やや悪化」22.2% (21.4%)、「悪化」3.7% (3.6%) となり、DIは7.4 (7.1) と0.3ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上動向

好転要因では、受注の増加や新規取引先の増加、円安による取引先の受注増加、ふるさと納税の効果、生産性の向上などの回答があった。  
悪化要因では、受注の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、経費圧縮や製品単価の上昇、原材料費の減少などの回答があった。  
悪化要因では、売上減少や原材料費・人件費等の増加などの回答があった。

○経営上の問題

人材（若年者と技術者）不足や年間を通じて受注が不安定であること、商品単価の値上げができないことを問題視する声が寄せられた。

**(卸・小売業) 回答73社中39社、回答率53.4%**

○市内の景況感については、「大変良い」2.6% (0%)、「良い」2.6% (2.5%)、「普通」58.9% (57.5%)、「悪い」33.3% (37.5%)、「大変悪い」2.6% (2.5%) となり、DIは▲30.7 (▲37.5) と6.8ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」2.6% (0%)、「良い」0% (5.1%)、「普通」51.3% (59.0%)、「悪い」41.0% (30.8%)、「大変悪い」5.1% (5.1%) となり、DIは▲43.5 (▲30.8) と12.7ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (2.5%)、「やや増加」28.2% (10.0%)、「変わらない」41.1% (60.0%)、「やや減少」25.6% (17.5%)、「減少」5.1% (10.0%) となり、DIは▲2.5 (▲15.0) と12.5ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (2.5%)、「やや好転」15.4% (10.0%)、「変わらない」58.9% (67.5%)、「やや悪化」23.1% (15.0%)、「悪化」2.6% (5.0%) となり、DIは▲10.3 (▲7.5) と2.8ポイント悪化した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、商品単価の増加や新規出店の効果、クルーズ船の効果などの回答があった。  
悪化要因では、販売不振や販売先の減少、気候変動（暖冬）の影響などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、原材料費の低価格化や商品単価高で推移したため、人件費削減などの回答があった。  
悪化要因では、仕入価格の高騰や価格競争の影響などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や人材育成、今後の公共工事の見通し、消費増税による影響などを問題視する声が寄せられた。

(サービス業) 回答65社中37社、回答率56.9%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (3.0%)、「良い」8.1% (9.1%)、「普通」64.9% (54.6%)、「悪い」27.0% (33.3%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲18.9 (▲21.2) と  
2.3ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (3.1%)、「良い」8.1% (15.6%)、「普通」64.9% (40.7%)、「悪い」27.0% (40.6%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲18.9 (▲21.9) と  
3.0ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」5.4% (3.0%)、「やや増加」32.4% (27.3%)、「変わらない」29.8% (42.4%)、「やや減少」24.3% (15.2%)、「減少」8.1% (12.1%) となり、DIは5.4 (3.0) と  
2.4ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (3.1%)、「やや好転」29.7% (34.4%)、「変わらない」43.3% (34.3%)、「やや悪化」21.6% (18.8%)、「悪化」5.4% (9.4%) となり、DIは2.7 (9.3) と  
6.6ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、婚礼の増加やキャンペーンの効果、市内テーマパークの好調、市場環境の変化に伴う設備投資の増加、天候の影響などの回答があった。  
悪化要因では、受注金額の低下や荷動きの減少、介護保険改定の影響などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、燃料費の低下や新規事業の好調、利用客の増加などの回答があった。  
悪化要因では、売上減少や原材料費の高騰などの回答があった。

○経営上の問題

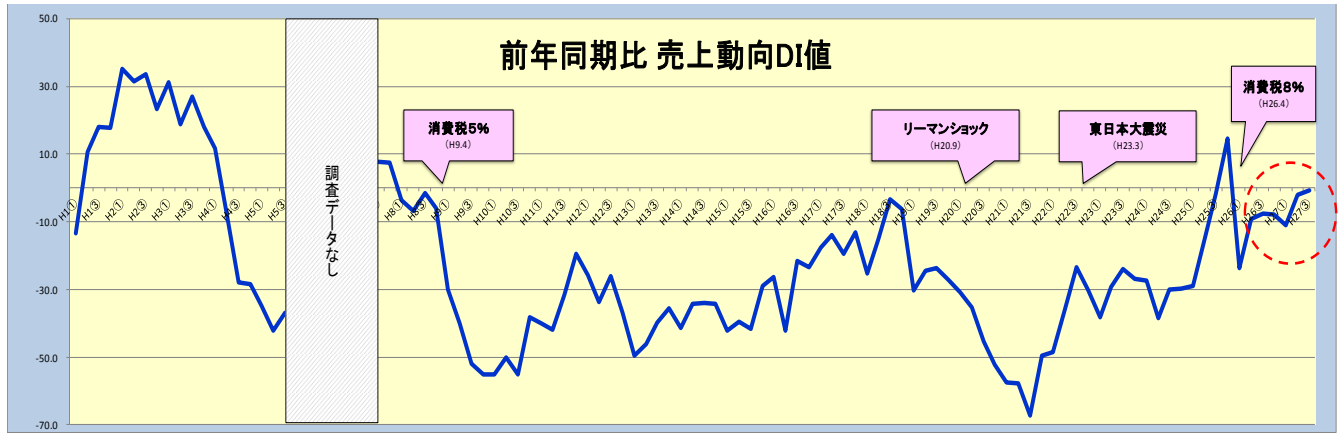
人手不足や幹部社員の育成、今後の販路開拓、消費増税による影響などを問題視する声が寄せられた。

以上

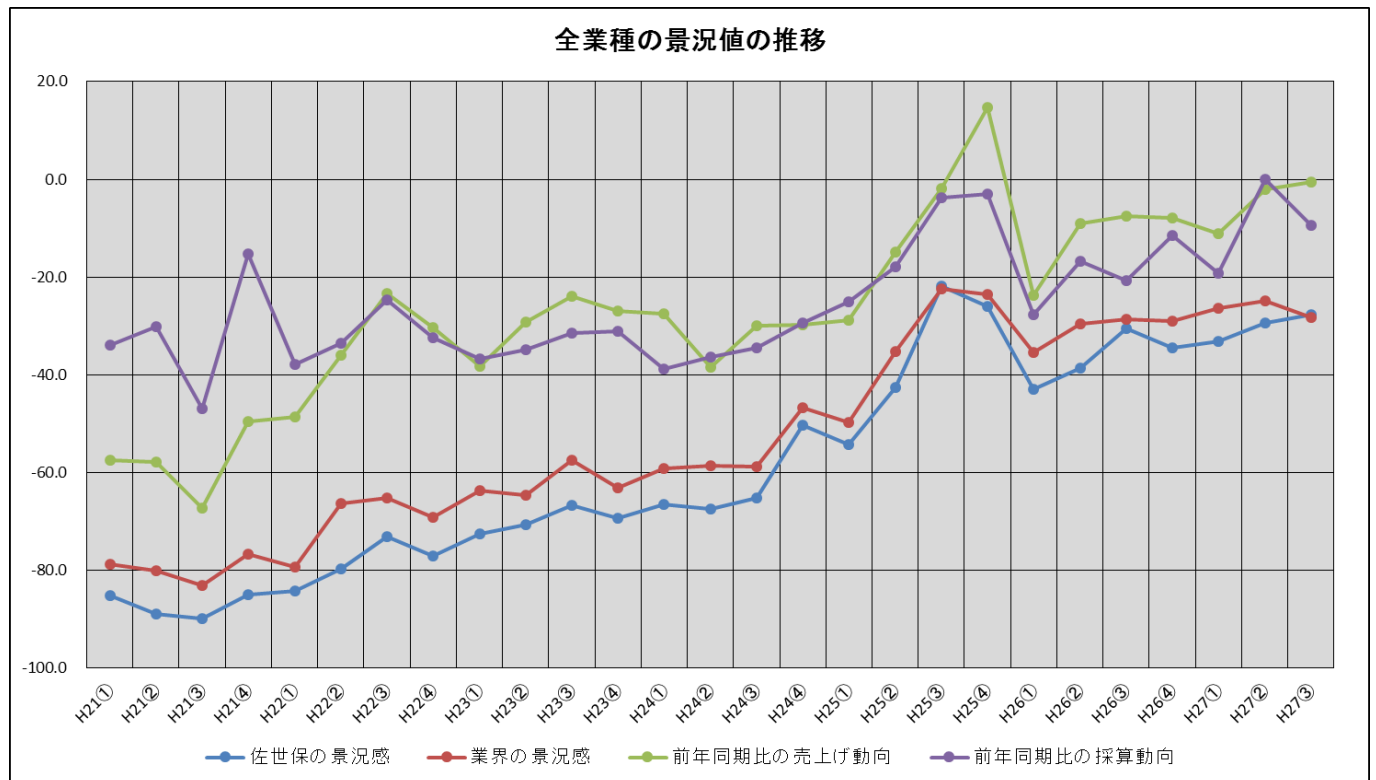


平成 27 年度第 3 四半期 経営動向調査表

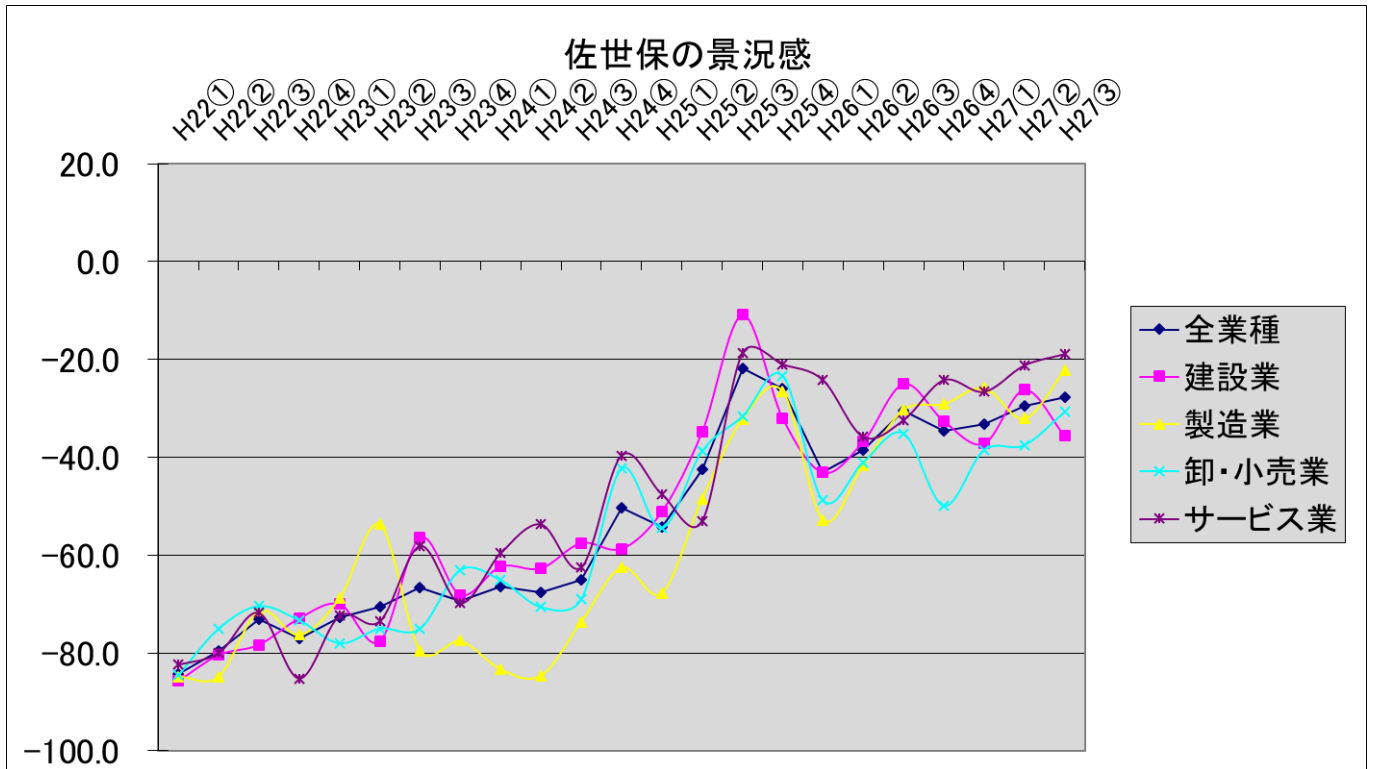
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向D I 値の推移（平成元年～）】



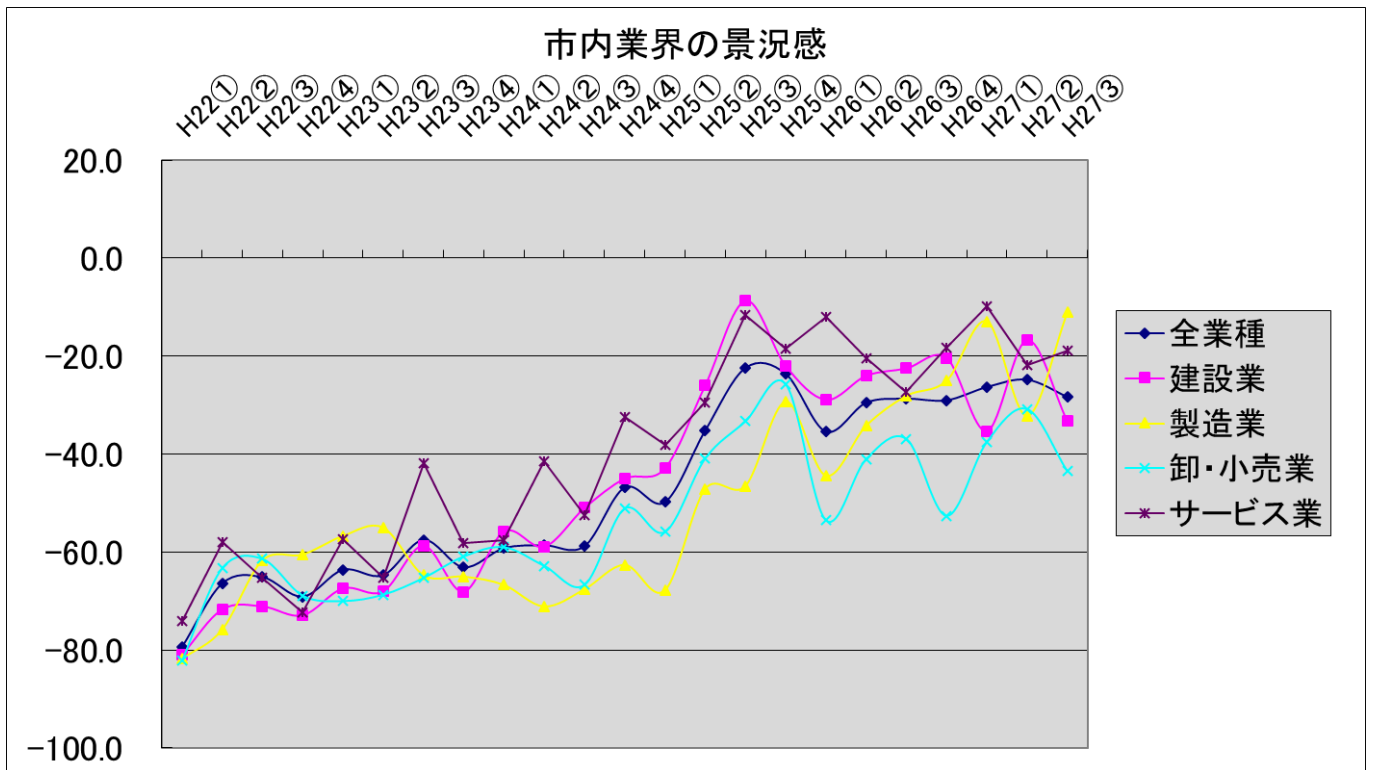
図表 1 - 2 【全業種D I 値の推移（平成 22 年～）】



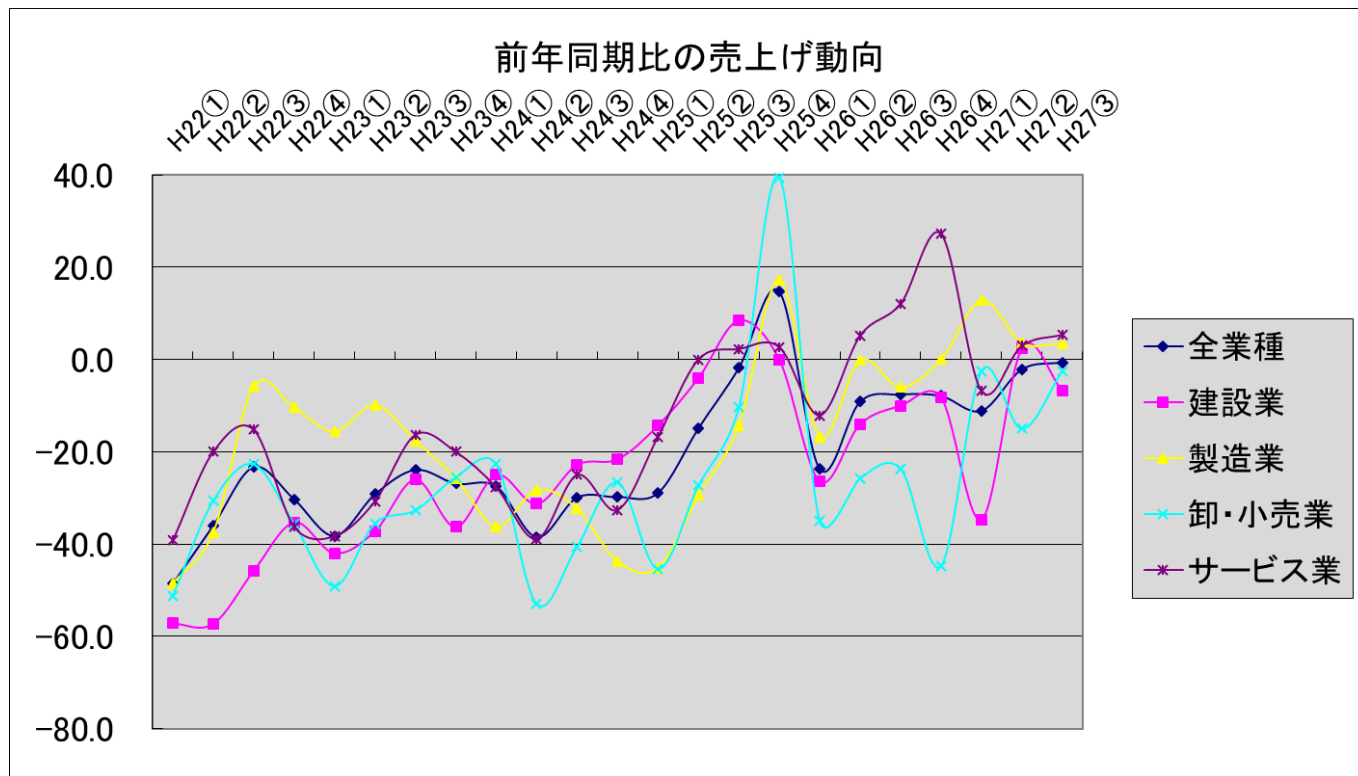
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 22 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 22 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 22 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 22 年～）】

